

CS661

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS661 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2009年3月25日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付随的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATENジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類は DOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は 2007 年 9 月 1 日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は 1 年間です。

【補足】

- 本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品の KVM スイッチ、キーボード・マウスコンバータ、キーボード・マウスエミュレータ、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術サポート部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATENジャパン製品保証規定.....	ii
製品についてのお問い合わせ.....	v
FCC.....	2
RoHS	2
SJ/T 11364-2006	3
同梱品	4
マニュアル表記について	5
製品概要	6
システム要件	7
対応オペレーティングシステム・言語	7
特長.....	8
製品に関する用語について	8
製品各部名称	9
セットアップ	10
接続図	11
操作方法.....	12
ツールバー	12
ツールバーボタン	12
デスクトップ画面の調整.....	13
デュアルPCコントロール(KVM機能).....	13
USB2.0 ハブ.....	14
ファイル管理.....	15
ファイルの転送	15
その他のファイル管理機能	16
アプリケーションアップグレードユーティリティ	17
トラブルシューティング	18
製品仕様.....	20
使用上の注意事項	21

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



同梱品

CS661 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS661 ファイル転送対応 USB KVM スイッチ ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1
- ◆ 携帯用ポーチ ×1
- ◆ はじめにお読みください(取扱注意カード/日本語) ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

製品概要

CS661 は、従来のケーブル一体型 KVM スイッチから大きな一歩を踏み出した、新しい概念の USB2.0 対応 KVM スイッチです。本製品は 2 台のコンピュータ同士を USB リンクケーブルのように接続して、ローカル側のコンソールからリモート側のデスクトップを操作します。さらに GUI ベースのファイル管理ツールにより、2 台のコンピュータ間におけるファイル転送を簡単に実現します。

製品本体には USB2.0 ハブポートを搭載。USB2.0 に対応したスキャナやプリンタ等のデバイスを接続し、ローカルコンピュータから操作することも可能です。

製品本体はコンパクトで持ち運びに便利なサイズですので、CS661 さえあれば、CD-R やフラッシュメモリを使わなくてもコンピュータ間で簡単にデータの受け渡し可以实现できます。例えば Windows Vista が搭載されている PC と Windows XP が搭載されているノートパソコンでも、CS661 でこれらのコンピュータを接続することによって、ネットワーク設定の変更やソフトウェアのセットアップをすることなく、簡単かつスピーディーにファイルを共有することができます。

本製品は USB インターフェースでノートパソコンでも使用可能ですので、独立したディスプレイが接続されたデスクトップパソコンから小さなディスプレイのノートパソコンを操作したり、オーディオデータ、写真、動画などのファイルを自由に転送・共有したり、身近な存在になった小型モバイル PC の利便性をさらに向上させます。

注意: 「KVM」の「K」はキーボードを、「V」はビデオ(モニタ)を、「M」はマウスを、それぞれ表します。CS661 は KVM スイッチのような機能を搭載し、プラグアンドプレイでご利用いただける製品です。CS661 でローカル/リモートの各コンピュータを接続することで、ローカルコンピュータから両方のコンピュータを操作することができます(デュアル PC コントロール)。

システム要件

ローカル/リモートの各コンピュータとも、Windows が搭載されたものをお使いください。対応するバージョンの詳細については下記をご参照ください。

注意: ローカルとして使用するコンピュータには、キーボード、マウス、モニタが接続されている必要があります。キーボード、マウス、モニタが接続されていないスタンドアロンの PC を接続して使用する従来の 2 ポート KVM スイッチとは使用方法が異なりますので、ご注意ください。

対応オペレーティングシステム・言語

本製品がサポート対象とするオペレーティングシステムおよび言語は下表のとおりです。

OS	バージョン	言語
Windows	2000 SP4、XP、Vista、 Server 2003、Server 2008	英語、中国語(繁体字/簡体字)、日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語、イタリア語

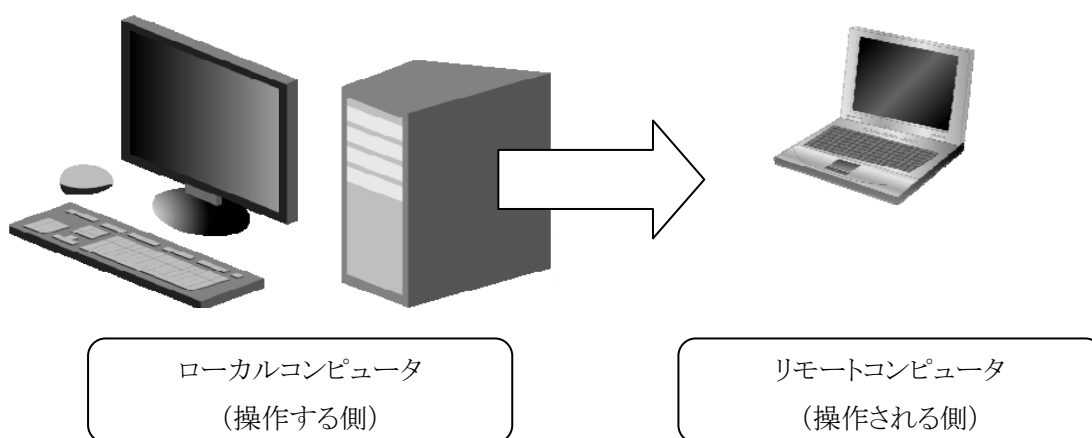
注意: 異なる言語の OS で CS661 を使用する場合は、p.18「トラブルシューティング」の内容をご参照ください。

特長

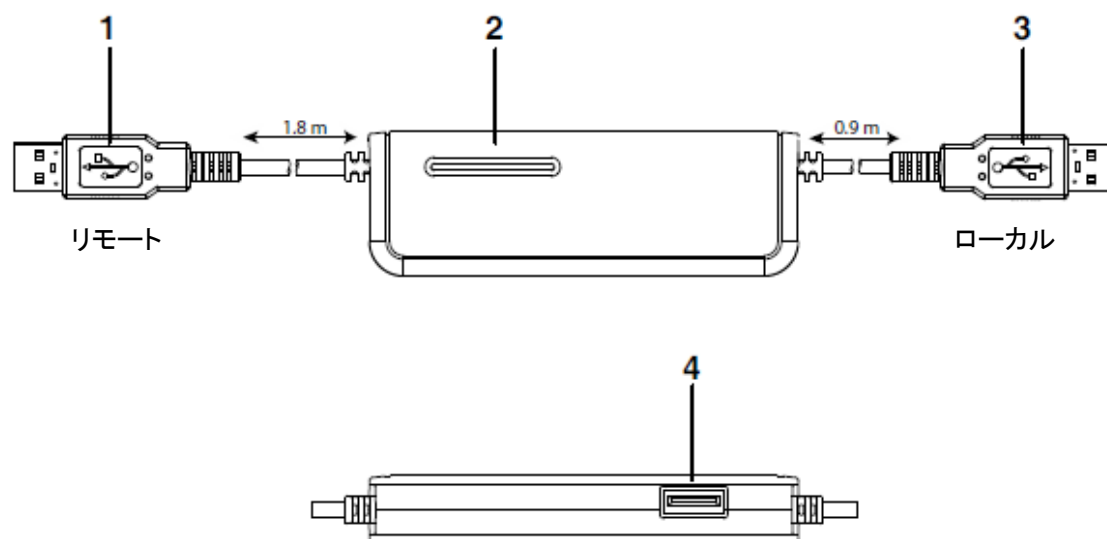
- ◆ ファイル転送機能を備えた、新しい概念の USB2.0 対応 KVM スイッチ
- ◆ デュアル PC コントロール - ローカルコンソールから、ローカル/リモートの各コンピュータの両方を操作することが可能
- ◆ USB2.0 ハブ(1ポート)搭載 - USB2.0 対応デバイスをローカルコンピュータから操作可能
- ◆ USB ケーブル一体型のコンパクトなデザイン
- ◆ 最大データ転送速度 - 12MB/sec
- ◆ 直感的な GUI で操作が簡単
- ◆ GUI ファイルシステム管理ツール - エクスプローラ上でドラッグ&ドロップを行うだけでファイルの転送が可能
- ◆ プラグアンドプレイ - 2つの USB コネクタをそれぞれ接続するだけで自動実行
- ◆ デスクトップの自動調整機能 - リモートディスプレイのウィンドウのサイズおよび解像度の調整が可能
- ◆ 電源不要

製品に関する用語について

CS661 の製品マニュアル、および GUI ファイルシステム管理ツールにおける、「ローカルコンピュータ(またはローカルマシン)」という表現は、ユーザーが実際に操作する側のコンピュータ(またはノートパソコン)を、また、「リモートコンピュータ(またはリモートマシン)」という表現は、ローカルコンピュータから操作される側のコンピュータ(またはノートパソコン)をそれぞれ指しています。



製品各部名称



No.	名称	説明
1	USB コネクタ	リモートコンピュータの USB ポートに接続するコネクタです。コネクタ裏に「REMOTE」と書かれています。
2	LED ランプ	ローカル/リモートのコンピュータ間での接続が正常で、デバイスがアイドル状態である場合、このランプはゆっくりとした一定のペースで点滅します。 また、コンピュータ間でデータ転送が行われている場合、このランプは早いペースで点滅します。
3	USB コネクタ	ローカルコンピュータの USB ポートに接続するコネクタです。コネクタ裏に「LOCAL」と書かれています。
4	USB2.0 デバイスポート	USB2.0 対応デバイス(プリンタ、スキャナ等)を接続するポートです。ここに接続されたデバイスは、ローカルコンピュータで使用することができます。

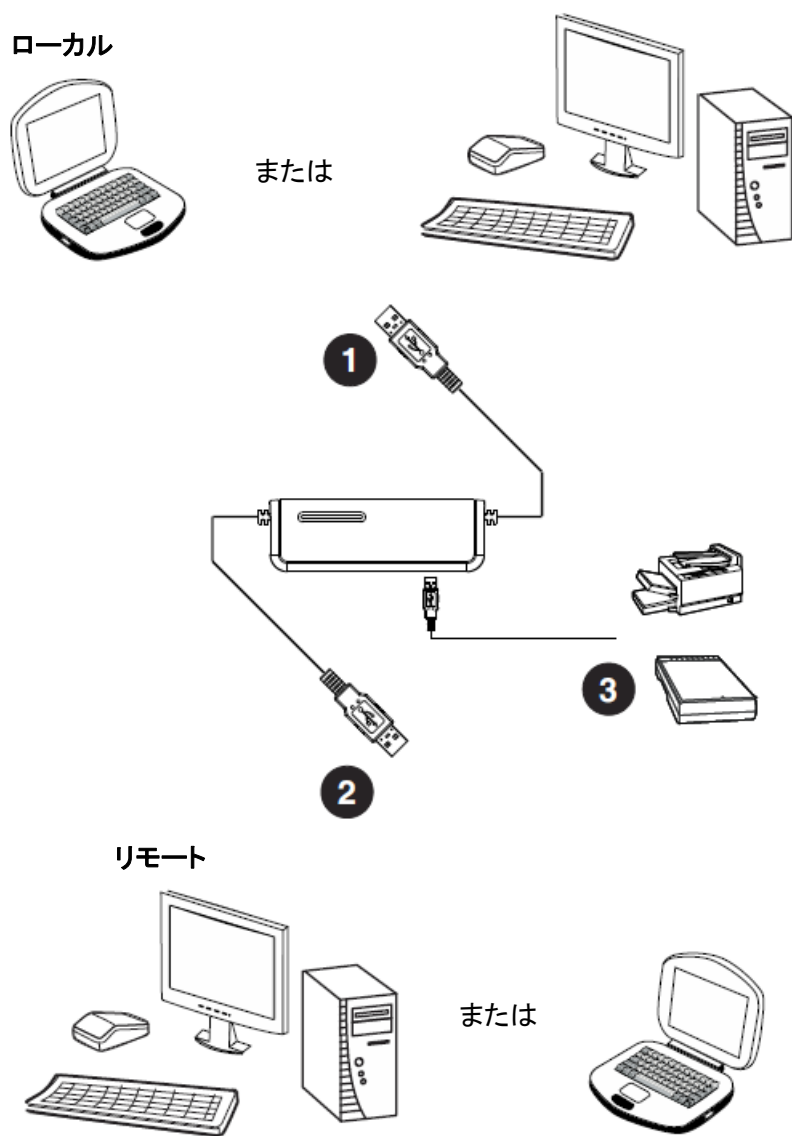
注意: ローカルコンピュータには短いほうの USB ケーブルを接続します。

セットアップ

CS661 はプラグアンドプレイ対応製品ですので、簡単にセットアップすることができます。以下の1~3の手順は次のページの図内の番号に対応しています。

1. 短いほうの USB ケーブル(0.9m)をローカルコンピュータの USB ポートに接続してください。
2. 長いほうの USB ケーブル(1.8m)をリモートコンピュータの USB ポートに接続してください。
3. (オプション)ローカルコンピュータで使用する USB デバイスを USB2.0 ポートに接続してください。
4. 製品がローカル/リモートコンピュータに接続されると、リモートコンピュータを操作するソフトウェアがコンピュータ上で自動起動します。
5. リモートコンピュータ上で自動再生ウィンドウが表示されますので、「ATEN_CS661.exe」を実行してください。しばらくすると、リモートコンピュータが起動中であるというメッセージが表示されます。
6. ローカルコンピュータの画面でリモートコンピュータのデスクトップ画面がウィンドウ表示されたら、ローカルコンソール(キーボード、モニタ、マウス)からリモートコンピュータを操作できるようになります。

接続図

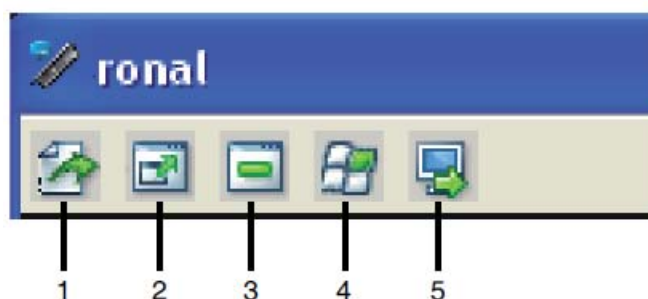


注意: ローカル/リモートの各コンピュータには Windows が搭載されたものを使用してください。

操作方法

ツールバー

CS661 が接続されたローカルコンピュータでは、GUI ベースの便利なツールバーメニューをご利用いただけます。ツールバーの各ボタンは以下のとおりです(各機能の詳細については下表をご参照ください)。



ツールバーボタン

No.	名称	説明
1	Open File Transfer	ファイル転送ツール (p.15参照) を起動します。
2	Toggle Full Screen Mode (ON/OFF)	リモートコンピュータのデスクトップ画面をフルスクリーン表示またはウィンドウ表示に切り替えます。フルスクリーン表示では、リモートコンピュータのデスクトップ画面がローカルユーザーのモニタ画面のサイズに調整されます。
3	Minimize Remote Screen	リモートコンピュータのデスクトップ画面を最小化します。
4	Send Start to Remote	リモートコンピュータのデスクトップ画面でスタートメニューを起動します。
5	Match / Restore Remote Screen	リモートコンピュータのデスクトップの解像度、またはローカルコンピュータのデスクトップの解像度を調整します。(p.13「デスクトップ画面の調整」参照)

デスクトップ画面の調整

CS661 が利用可能になると、リモートコンピュータのデスクトップ環境がローカルコンピュータのデスクトップ上にウィンドウ表示されます。CS661 の画期的なデスクトップ画面調整機能によって、リモートコンピュータのデスクトップ画面は、フルスクリーンモード、リサイズ可能なウィンドウモードのどちらでも表示することが可能です。

デフォルトでは、リモートコンピュータのデスクトップウィンドウはリモートコンピュータ画面本来の解像度を保持し、1:1 の縦横比でローカルコンピュータの画面に表示されます。リモートコンピュータのデスクトップ画面の解像度をローカルコンピュータのモニタの解像度に合わせる場合は、ツールバーの「Match / Restore Remote Screen」の機能をご使用ください。

注意: リモートコンピュータのデスクトップ画面は、ツールバーを使ってフルスクリーン表示に切り替えることも可能です。フルスクリーンモードでは、リモートコンピュータのデスクトップ画面はローカルモニタの画面サイズに調整されます。

デュアルPCコントロール(KVM機能)

CS661 は KVM スイッチのような機能を搭載し、プラグアンドプレイでご利用いただける製品です。CS661 でローカル/リモートの各コンピュータを接続することで、ローカルコンピュータから両方のコンピュータを操作することができます(デュアル PC コントロール)。

ローカルコンソールはリモートコンピュータの KVM(キーボード、ビデオ、マウス)を自由にコントロールできますので、ローカルコンピュータからリモートコンピュータの操作が可能です(すなわち、ローカルコンピュータの画面でリモートコンピュータのデスクトップ画面が立ち上がっているときは、ローカルコンピュータのマウスとキーボードを使ってリモートコンピュータを操作することができます)。

注意: CS661 は 2 台のコンピュータの操作が可能な KVM スイッチですが、ローカルコンピュータ側にはキーボード、マウス、モニタを接続する必要があります。

USB2.0 ハブ

CS661 の製品本体には USB2.0 ハブ(1 ポート)を搭載しています。このポートに USB デバイスを接続することで、ローカルコンピュータからアクセスすることが可能です。

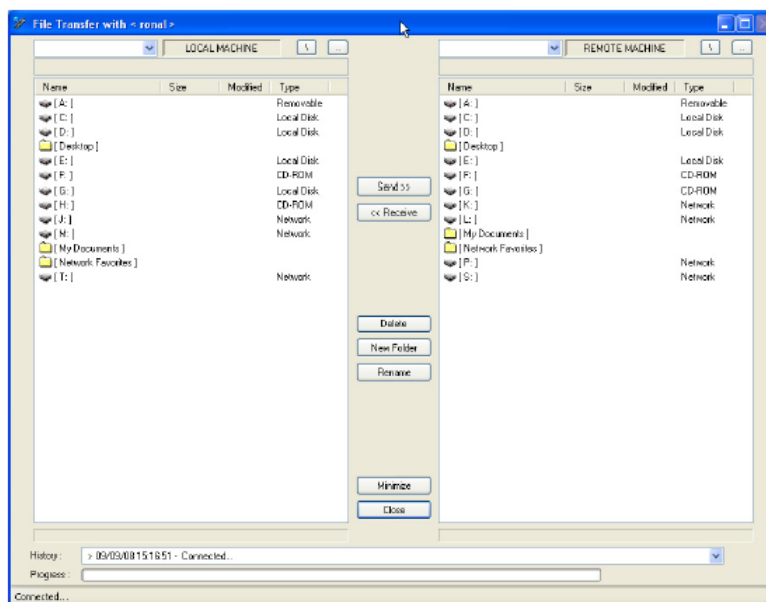
注意: USB デバイスを CS661 のハブポートに接続してお使いの場合、バスパワー給電が不足するおそれがありますので、その USB デバイス付属の電源アダプタを使用してください。

ファイル管理

ファイルの転送

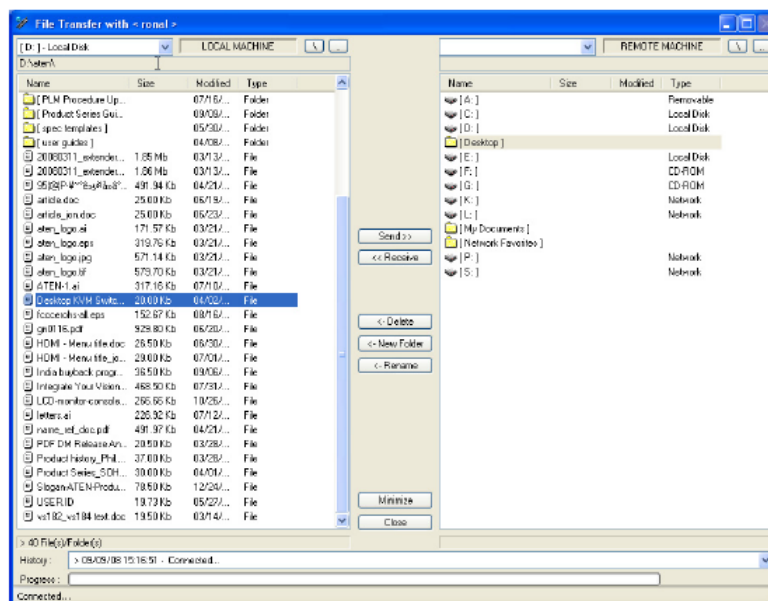
CS661 では、ローカル/リモートコンピュータ間におけるスムーズなファイルの受け渡しを実現する直感的なファイル転送ユーティリティファイル管理機能を提供しています。

1. ローカルコンピュータ上に起動しているリモート画面のメニューから、「Open File Transfer」アイコンをクリックしてください。
2. ファイル転送ツールの画面が表示されます。



ローカルコンピュータのファイルシステムが左側(LOCAL MACHINE)に、リモートコンピュータのファイルシステムが右側(REMOTE MACHINE)に、それぞれ表示されます。

3. ファイル転送には以下の2つの方法があります。
 - a) ドラッグアンドドロップによるファイル転送 - ローカルまたはリモートコンピュータのファイルシステムでファイル転送を行うフォルダを表示し、転送対象となるファイルを目的のフォルダにドラッグアンドドロップしてください。
 - b) 「Send」ボタン、「Receive」ボタンを使ったファイル転送 - ローカルまたはリモートコンピュータのファイルシステムでファイル転送を行うフォルダを表示し、転送対象となるファイルを選択して、ローカルコンピュータからリモートコンピュータにファイルを転送する場合は「Send」ボタンを、リモートコンピュータからローカルコンピュータにファイルを転送する場合は「Receive」ボタンをそれぞれ押してください。
4. ファイル転送の進捗状況はダイアログ下部「Progress:」のプログレスバーで確認することができます。また、ファイル転送が完了すると、ダイアログ下部「History:」の部分にメッセージが表示されます。



その他のファイル管理機能

ファイル転送機能に加え、CS661 管理ツールでは、ローカル/リモートの両方でファイルやフォルダの新規作成、名前の変更、削除といったファイルシステムの操作が可能です。

アプリケーションアップグレードユーティリティ

CS661 をアップグレードする場合は以下の手順で操作を行ってください。

1. 弊社 Web サイトから CS661 アップグレードユーティリティの最新版をダウンロードしてください。
2. CS661 をローカルコンピュータに接続し、アプリケーションアップグレードユーティリティのアイコンをダブルクリックし、ダイアログで「Start」ボタンを押してアップグレードを実行してください。



3. アップグレードの進捗状況は画面上で確認できます。アップグレードに成功すると、以下のようなダイアログが表示されます。



4. 「OK」ボタンをクリックしてください。

注意: アップグレード中は製品の USB コネクタをコンピュータから抜かないでください。

トラブルシューティング

問題	対処法
CS661を使用してリモートコンピュータからローカルコンピュータを操作することは可能か？	CS661 はローカルコンピュータからリモートコンピュータの方向で操作することを想定して設計されていますので、リモートコンピュータからローカルコンピュータを操作することはできません。リモートとローカルのコンピュータを入れ替えたい場合は、新しくローカルとして使用するコンピュータにローカル用コネクタを、リモートとして使用するコンピュータにリモート用コネクタをそれぞれ接続しなおしてください。
ローカル/リモートコンピュータの OS の言語が異なる場合でも CS661を使用することは可能か？	ローカル/リモートのコンピュータ間で OS の言語が異なっても CS661 を使用することは可能ですが、ローカルコンピュータで入力可能なテキストはローカルコンピュータに搭載されている OS の言語および英語のみとなります。 例えば、ローカル OS 言語が英語で、リモート OS 言語が日本語の場合、CS661 の機能はすべてご利用いただけますが、ローカルコンソールからリモート環境のデスクトップウィンドウや GUI で入力できるのは英語のみとなります。
CS661はMacやLinuxを搭載したコンピュータでも動作するか？	2009年2月現在、CS661 がサポートする OS は Windows (2000 以上、XP、Vista 他) です。
USBデバイスをCS661のハブポートに接続すると動作しない。	USB デバイスを CS661 のハブポートに接続してお使いの場合、バスパワー給電が不足するおそれがありますので、その USB デバイス付属の電源アダプタを使用してください。
USB2.0対応のデバイスをCS661のUSBポートに接続しても、そのデバイスがコンピュータ上に表示されない。	リモートコンピュータ側からこの USB デバイスにアクセスすることはできません。USB デバイスを操作したい場合は、ローカルコンピュータ上のリモート画面を最小化し、ローカル画面の操作に戻ってください。ローカル画面に戻ると、USB デバイスのアクセスおよび操作(ローカルコンピュータ内で行うファイルコピー等)が可能になります。

(表は次のページに続きます)

問題	対処法
リモートコンピュータのハードディスク上にあるファイルを、ローカルコンピュータ側から操作して印刷することは可能か？	CS661 のリモート側でプリンタが利用可能な環境にある場合は、ローカルコンピュータからリモート画面を操作して、リモートコンピュータ上のファイルの印刷を実行することが可能です。
コンピュータ同士がCS661で接続されている場合、ローカルコンピュータからリモートコンピュータ側のブラウザを立ち上げてインターネットを使用することは可能か？	CS661 のリモート側がインターネットに接続できる環境にある場合、ローカルコンピュータからリモートコンピュータのブラウザを起動してインターネットサイトを閲覧することができます。
CS661が接続されているコンピュータの片方を再起動した場合どうなるか？	片方のコンピュータを再起動してしばらくすると、再起動していないほうのコンピュータ上でメッセージが表示され、CS661 ユーティリティソフトウェアが自動起動します。ソフトウェアが起動したら、ローカルコンピュータの「マイコンピュータ」から CS661 のアイコンをクリックしてください。この操作でコンピュータ間の接続が再確立します。 注意: 片方のコンピュータを常にリモートコンピュータとして使用する場合、リモートソフトウェアを CS661 上にあるインストーラを使ってインストールすることも可能です。
コンピュータを再起動すると、CS661が動かなくなる。	ローカルまたはリモートコンピュータを再起動すると、CS661 ユーティリティはオフラインになります。このような場合には CS661 の USB コネクタを一旦抜いて、両方のコンピュータに接続しなおすと再び使用可能になります。 または、CS661 のアイコンをダブルクリックして CS661 のユーティリティを再度実行してください。
リモートコンピュータ上でアジアの言語を入力するにはどうすればよいのか？	日本語入力に関する注意事項がp.21に記載されていますので、詳細はそちらをご参照ください。

製品仕様

機能		CS661
コンピュータ接続数		1
ローカルポート側コネクタ		USB タイプ A オス×1
リモートポート側コネクタ		USB タイプ A オス×1
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×1
LED	オンラインデータ転送	ブルー×2
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース材料		プラスチック
重量		98g
サイズ(W×D×H)		31×92×14mm
同梱品		ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1 携帯用ポーチ×1 はじめにお読みください(取扱注意カード /日本語)×1

使用上の注意事項

CS661 を日本語 Windows 環境で使用する際、一部の機能で下記の操作を行う必要がありますのでご注意ください。

◆USB 仕様について

CS661 は USB 2.0 のみに対応しております。お使いのコンピュータのポートが USB 2.0 に対応していない場合は、正しく動作しません。

◆ Windows Vista で使用する場合

Windows Vista のマシンをリモート側 PC で使用する場合、その PC の UAC (ユーザーアカウント制御) の設定を OFF にしてください。

◆リモートコンピュータに対する日本語入力

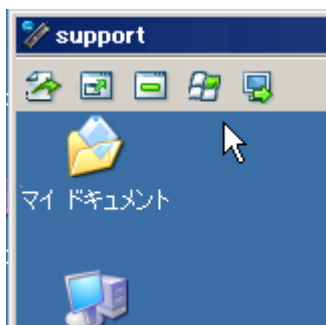
リモートコンピュータで日本語を入力する場合、CS661 ではかな漢字入力システム (IME) を下記の状態にしておく必要があります。

1. ローカルコンピュータのかな漢字入力をオフ (= 英数字の直接入力状態) にしてください。
2. リモートウィンドウ内のタスクトレイにある IME ツールバーをマウスで操作して、かな漢字入力をオンにしてください。キーボード上の「半角/全角」キーは使用しないでください。

◆リモートコンピュータに対する Windows キーの操作

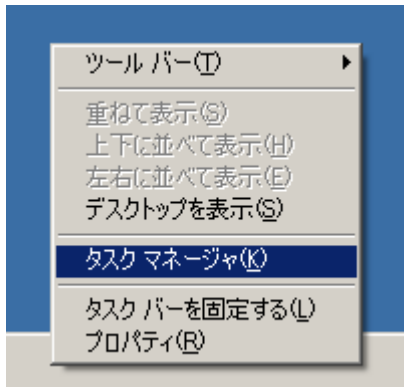
方法①ーリモートコンピュータに対して Windows キー押下の操作を行う場合は、キーボードの Windows キーは使用せずに、マウスで Windows ボタンを直接クリックしてください。

方法②ーリモートウィンドウの Windows キーアイコンをクリックしてください。(下図参照)



◆リモートコンピュータに対する[Ctrl]+[Alt]+[Del]操作

[Ctrl]+[Alt]+[Del]操作(タスクマネージャ呼び出し)は、リモートコンピュータのタスクバー上で右クリックして表示されるメニューから実行してください。



◆ファイル名文字数の上限

CS661 のファイル転送機能は、2 バイト文字のファイル名を与えられたファイルにも対応しています。ただし2 バイト文字で 63 を超える、または1 バイト文字で 127 を超えるファイル名には対応しておりませんので、ご注意ください。